

第 5 章

農 業

第5章 農業

概況

大阪府の農業は、都市近郊の立地を活かした施設園芸などにより集約的な農業経営が生まれ、府民へ新鮮な農産物を提供している。特に、しゅんぎく、つけななどの軟弱野菜やぶどうなどの果樹の栽培が盛んで、全国でも有数の産地となっている。

農地面積は、市街化の進展により減少を続けており、府内全域に占める割合は8.0%となっている。

また農地は、その約30%が都市計画法上の市街化区域内に存在しており、農産物の生産基盤であるとともに府民にとって貴重な自然源であり、快適な環境を創造するための極めて重要な自然資源となっている。

農家数

平成17年2月1日現在で実施された2005年農林業センサスの結果によると、大阪府の農家数は2万7893戸となっている。これを地域別にみると、最も多いのは南河内地域の6063戸(構成比21.7%)、次いで泉南地域4994戸(同17.9%)、泉北地域4661戸(同16.7%)の順となっており、これら南大阪3地域だけで農家数全体の過半数を占めている。

経営耕地面積規模別にみると、2005年農林業センサスでは、自給的農家においては、例外規定並びに0.1ha以上0.3ha未満層の農家の調査を行っていないが、販売農家においては、0.3ha以上1ha未満層が1万304戸(構成比87.7%)となっており、販売農家数全体の約9割を占めている。

農家を自給的農家と販売農家とに区分すると、自給的農家が1万6141戸(構成比57.9%)、販売農家は1万1752戸(同42.1%)で、販売農家を専業農家と兼業農家とに区分すると、専業農家は2600戸(構成比22.1%)、兼業農家は9152戸(同77.9%)である。兼業農家のうち第一種兼業農家は1515戸(同16.6%)で、第二種兼業農家は7637戸(同83.4%)となっている。

農家人口

農家世帯員数は、5万1652人で、男性が2万5235人、女性が2万6417人である。このうち販売農家世帯員数は、4万6266人で、自営農業従事者数は3万4151人(販売農家世帯員数の73.8%)である。

自営農業従事者のうち、自営農業に従事しているのが1万8577人で自営農業とその他の仕事に従事している人は、1万5574人になっている。

経営耕地面積

経営耕地面積は、9809haとなっている。

これを農家1戸当たりの経営耕地面積にすると、35.1aとなっている。

収穫量

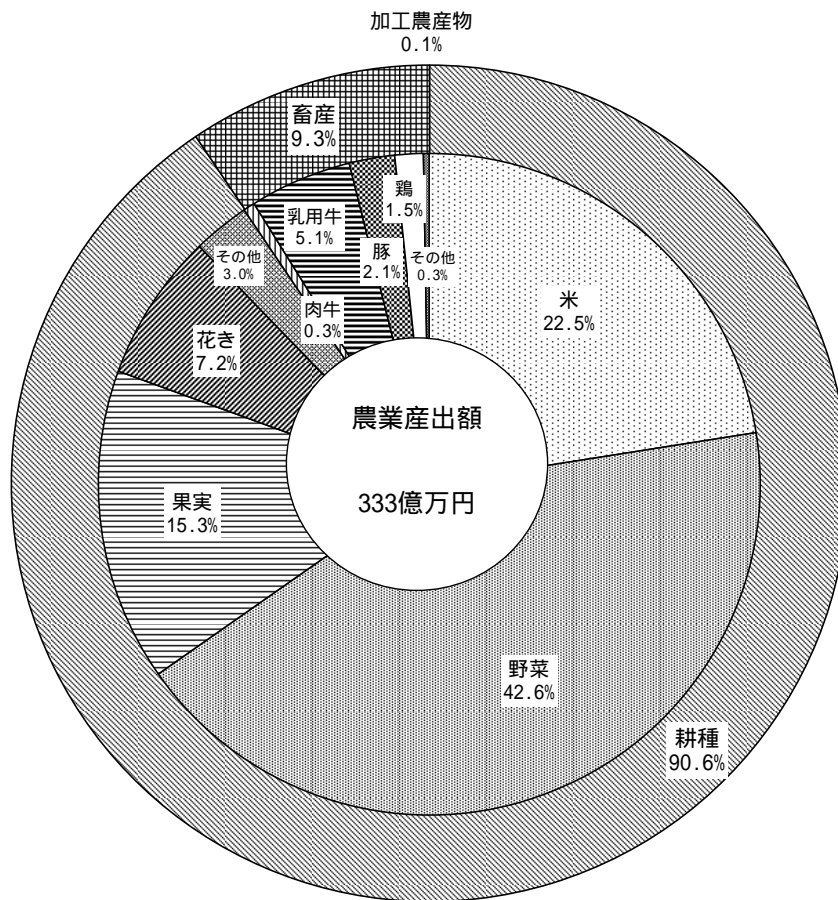
平成17年の府内の主要農作物の収穫量では、水稻が3万1200tと最も多く、温州みかん1万5800t、キャベツ1万5100t、なす8530tの順となっている。

農業産出額

平成17年の農業産出額は333億円であった。

これを部門別にみると、最も多いのは野菜の142億円(構成比42.6%)で、以下、米の75億円(同22.5%)、果実の51億円(同15.3%)、畜産の31億円(同9.3%)、花きの24億円(同7.2%)の順となっている。

農 業 産 出 額 の 構 成 (平 成 17 年)



経 営 耕 地 面 積 規 模 別 農 家 数 の 割 合 (平 成 17 年)

